

今週のメニュー

■トピックス

◇VEC/JPEC は「エコプロ Online 2020」に出展しています

■随想

◇ららら、プラスチック (2) 新しい朝が来た

前 日本プラスチック工業連盟 専務理事 岸村 小太郎

■トピックス

◇VEC/JPEC は「エコプロ Online 2020」に出展しています

今年は、with コロナの新しい生活様式がスタートした大きな転換期でもあり、リモートやオンラインによる活動が急増する中で、情報の必要性と共に質の向上がより求められるようになっていきます。このような状況下で、VEC では今年は従来のリアルイベント参加を取り止めて、web 情報の発信にウェイトをかけて展開しています。

9 月には、web サイトを全面的にリニューアルし、10 月には、東京都中央区の「[2020 年子供とためす環境まつり WEB 版](#)」に動画を出展し、2021 年 3 月末まで公開しています※1。また、今年協賛している「おしごと年鑑」の web 版が 10 月より「[おしごとはくぶつ かん](#)」のサイトに公開中で、VEC のコンテンツも掲載されています※2。そして、2020 年 11 月 25 日(水)~28 日(土)に開催しているエコプロ Online 2020「[SDGs Week Online 持続可能な社会の実現に向けて](#)」に出展し、塩ビの特性や製品を動画と資料で紹介しています。会期後は、2020 年 12 月 25 日(金)までアーカイブが公開される予定です。

エコプロは、1999 年にスタートし、環境配慮・省エネ・省資源型製品やサービス、持続可能社会への取り組みなどを紹介する国内最大規模の環境展です。VEC/JPEC は、2007 年より共同で出展し、環境にやさしい塩ビを訴求しつつ、塩ビの特性を広く理解してもらえる展示を目指しています。2016 年より隔年での参加となりましたが、前回の 2018 年には、省資源、省エネ、耐久性・長寿命、リサイクル、防災に関連する代表的な塩ビ製品を展示して SDGs へのつながりを紹介しました。

さて、今回のエコプロオンライン展の VEC/JPEC サイトでは、塩ビの環境特性や製品の特長を紹介した動画 4 点、及び製品・サービスを展示したコンテンツ 10 点を公開しています。動画は、「塩ビの新発見!?!」というタイトルで、中学生を対象にして、身の回りに存在している塩ビ製品をイラスト動画で分かりやすく紹介しています。案内役は、小人の「ゴイスー博士」です。動画は次の 4 編から構成しています。

第 1 話 こんな所にも塩ビが!?! ~お部屋の塩ビ編~

第 2 話 塩ビ DE ランチタイム!?! ~レストランの塩ビ編~

第 3 話 イチゴと塩ビの意外な関係!?! ~畑の塩ビ編~

第 4 話 塩ビって実はすごいエコ!?! ~塩ビのリサイクル編~



エコプロオンライン展のVEC/JPECのトップページ

製品・サービス展示では 10 点のコンテンツを用意して、塩ビの耐久性や環境特性など優れた特性、及びSDGsの17の目標にどのように貢献しているのかなど紹介しています。コンテンツのタイトルは次の通りです。

- ①「塩ビは省資源な素材！」
- ②「持続性に貢献する塩ビ」
- ③「寿命が長い塩ビ製品」
- ④「樹脂窓で熱の出入りを抑えて快適に！」
- ⑤「生活に必要な水を安全に運ぶ塩ビパイプ」
- ⑥「電柱のない安全で美しい街へ！」
- ⑦「With コロナ関連塩ビ製品」
- ⑧「塩ビパイプの水平リサイクル」
- ⑨「塩ビの多種多様な用途」
- ⑩「未来を切り拓く塩ビ素材とものづくり」

VEC/JPEC のエコプロオンライン展示ページを是非ご覧ください※3。

※1 VEC は「塩ビって なんだろう？」というタイトルで、塩ビが身近な素材で、地球や人にやさしい素材であることを、小学生を対象に動画で紹介しています。次の URL よりご覧ください。

<https://youtu.be/14OIR39MlpE>

※2 VEC は「未来を生み出す科学技術のお仕事」のカテゴリーに、「食品サンプルは、何でできているの？」というタイトルで、塩ビが身近な存在でエコな素材であることを紹介しています。次の URL よりご覧ください。 <https://www.oshihaku.jp/nenkan/page/13727321>

※3 「SDGs Week Online」の web サイトで参加登録をしてからご覧ください。

<https://eco-pro.com/2020/page/sdgs.html>

名称：エコプロ Online 2020

会期：2020年11月25日(水)～28日(土)【4日間】

会期後、2020年12月25日(金)までアーカイブを公開

■ 随想

◇ららら、プラスチック (2) 新しい朝が来た

前 日本プラスチック工業連盟 専務理事 岸村 小太郎

前回 ([2020年8月20日発行 No.679](#))、朝のウォーキングを始めたことを書いた。今回は、前回の原稿を書いた直後の8月に書いたため、季節にそぐわない内容になってしまったが、ご容赦願いたい。

歩いていると、あちこちでラジオ体操をしているグループに出会う。いかにも自発的に集まった人たちで、高齢者がほとんどだ。私が小学生だった頃、夏休みは毎朝校庭に集まってラジオ体操をしたものだったが、夏休みにラジオ体操をする子供たちの姿を見かけなくなって久しい。

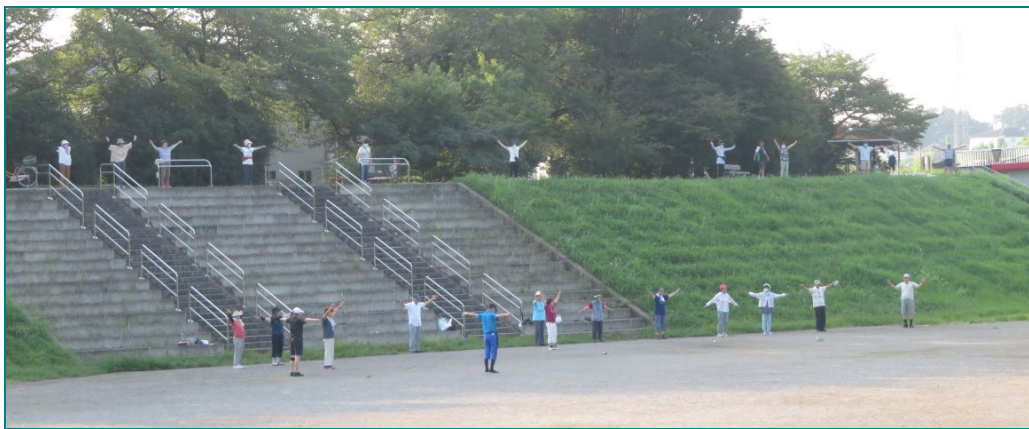


写真1. ウォーキングで出会ったラジオ体操のグループ
(ソーシャルディスタンスを保ちながら)

夏休みといえば、ラジオ体操の他にも、ラジオそのものにまつわる思い出がある。

今ではラジオを聞くことさえほとんどなくなったが、工作好きだった私にとって、小学校の夏・冬の休みの楽しみの一つがラジオ工作だった。かまぼこ板の上に組み立てた鉱石ラジオに始まり、6年生の夏には真空管ラジオを組み立てていた。「子供の科学」や「初歩のラジオ」といった雑誌に付いている配線図を睨みながら、街のジャンク屋で集めてきた部品をハンダ付けしていく。配線図の通りに組み立てた積りでも、すぐに音が出ることはまずない。配線のミスを探したり、配線図では良くわからなかった箇所を、試行錯誤で配線し直したりを繰り返す。自分で組み立てたラジオのスピーカーから初めて音が出たときの嬉しさはひとしおだ。

5年生の頃だったと思うが、トランジスタラジオを組み立てた時に、ポリバリコンという部品を初めて知った。1960年前後から普及し始めた部品だ。

ラジオを聴く時は、選局ダイヤルを回して放送局の周波数に合わせるが、あのダイヤルの裏側にあるのがバリコンで (variable condenser の略。可変コンデンサー)、それまで私が知っているバリコンは鉄製で、大きくて重いものに対し、このポリバリコンはそれまでのものとは比べ物にならないほど小型で軽く、そして魅力的だった。

誘電体に薄いポリエチレンフィルムを使用していることがその名前の由来だが、ポリ〇〇という素材、そしてプラスチックというものをはっきりと認識したのはこの時が初めてだったと思う。もちろん、配線にはビニル被覆電線を使うし、手作りトランジスタラジオの筐体には当時普及し始めたプラスチック製の密閉容器を使ったりもしていた。しかし、

ポリバリコンには、被覆材や入れ物とは違う”何か”を感じていた。思えば、あれがプラスチックに魅了された最初の体験だったのかも知れない。



写真2. バリコン(左)と ポリバリコン(中央)

さて、話を小学生の頃のラジオ体操に戻そう。

夏休みの早朝、寝起きでぼーとしたまま校庭に集まると、大音量で流れる「全国のみなさん、お早うございます！」の挨拶と、これに続くあの歌で目が覚める。ラジオ体操の歌。あの歌が好きだった。最近、草刈正雄がテレビのCMでこの詩を朗読しているが、やはりメロディー無しでは、目は覚めない。今でも、この歌を口ずさむと、あの夏の朝の清々しさが甦る。

ラジオ体操の歌は、「新しい朝が来た」から始まる前半の澆刺感もいいが、中間部分の「ラジオの声に」の旋律が好きだった。うまく言い表せないが、心地よさや安らぎのようなものに包まれる。ラジオ体操で”安らぎ”というのもおかしいが、この原稿を書くにあたり、初めてこの曲の楽譜を調べて気付いた。前半のフレーズは低音から高音に向かって行く「上行音型」であるのに対し、「ラジオの声に」はファミレーレ、ファミドー と下行音型なのだ。これが、心地よさや安らぎに結びついているのだろう。どうでもいい話かも知れないが、この随想を書かせてもらったお陰で、永年の“謎”が解けた。

「ラジオ体操の歌」

1956年（昭和31年）

新しい朝が来た 希望の朝だ
喜びに胸を開け 大空あおげ
ラジオの声に 健やかな胸を
この香る風に開けよ
それ 一 二 三
(藤浦洸 作詞、藤山一郎 作曲)



⇒ [バックナンバー](#)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp
